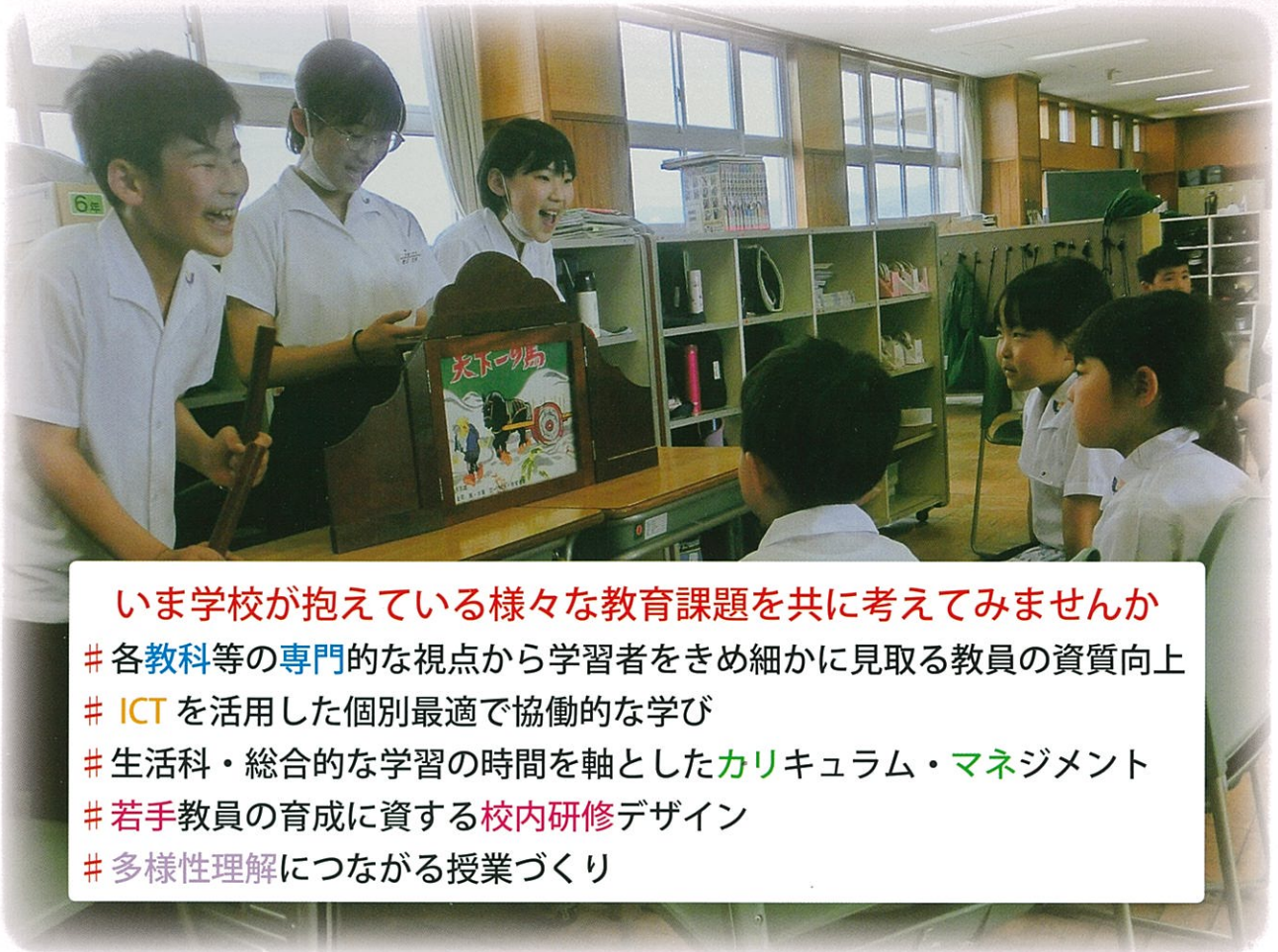




公開研究協議会のご案内



- いま学校が抱えている様々な教育課題を共に考えてみませんか
- # 各教科等の専門的な視点から学習者をきめ細かに見取る教員の資質向上
 - # ICTを活用した個別最適で協働的な学び
 - # 生活科・総合的な学習の時間を軸としたカリキュラム・マネジメント
 - # 若手教員の育成に資する校内研修デザイン
 - # 多様性理解につながる授業づくり

【研究主題】

(2年次)

自律した学習者を育てるⅡ

—子どもと教師でつくる「学びのものさし」—

【開催期日】 令和5年 9/29 

日程

8:00	8:25	8:30	9:05	9:20	10:05	10:25	11:10	12:20	13:30	13:45	14:55	15:15	16:35
受付	移動	(研究説明・諸連絡)	全体会	移動	提案授業Ⅰ	移動	提案授業Ⅱ	昼食・休憩	各教科等別 授業協議会Ⅰ	移動	各教科等別 授業協議会Ⅱ	移動	講演会・講評



国語



算数



理科

提案授業 I

(9:20 ~ 10:05)

多様性理解

教科専門性

ICT

カリマネ

若手校内研修

教科専門性

教科等	授業会場	単元・題材名	授業者	授業アピール
国語	3 C 教室	いろいろ見つけたよ お話の中のわたし	鎌田 佳佑	登場人物の考え方や性格に自分を重ねながら読み、多様な側面から人物像を捉えることを通して、多様性の中で共に生きようとする子どもの言葉を引き出します。
算数	1 A 教室	かたち はっけん	伊藤 智美	生活の中で見つけた子どもの問いを基に、仲間と対話をしながら試行錯誤する活動を通して、形の構成要素や機能面の特徴について気付いたことを伝える子どもの姿を目指します。
理科	3 A 教室	電気の通り道 明かりをつけよう	柴田 省吾	豆電球に明かりをつける体験を共有することで、電気には通り道がありそうだという見通しをもちながら問題解決する子どもの姿を目指します。
生活	1 C 教室	ようちえんのともだちと いっしょにあそぼう	渡部 和朝	作ったおもちゃの試し遊びから得た気付きや手応えを生かし、一緒に遊ぶ相手に思いを寄せながら、楽しい活動を創造しようとする子どもの姿を目指します。
図画工作	図工室	シャボンでつくろう 海のものかたり	三浦 菜子	鑑賞（『スイミー』の挿絵）、造形遊び、絵に表す活動を行き来し、偶然できた形から海の世界を見立てることを通して、国語科で学んだ『スイミー』の世界を広げていく子どもの姿を目指します。
外国語	6 B 教室	Original menu for you! 心も体も喜ばせたい!	山崎 麻絵	やり取りをしながら相手が食べたいような食事メニューを考えることで、よりよいコミュニケーションを実現しようとする子どもの姿を目指します。

授業協議会 I

(12:20 ~ 13:30)

教科等	会場	研究テーマ	研究協力者	教材分析協力者	助言者
国語	3 A B 教室	自覚的に言葉の力を働かせ、言葉とよりよく向き合う子どもを育む学び	成田 雅樹 高橋 菜由	羽田 朝子	中央教育事務所由利出張所 熊谷亜希子
	秋田大学成田先生・高橋先生による、提案授業に関わる内容について学習者視点と授業者視点で考えるワークショップも行います。				
算数	5 A B 教室	個々の問いをもとに、主体的・協働的に学びをつなぎ、数学のよさを見だしていく子どもを育む学び	佐藤 学 加藤 慎一		中央教育事務所由利出張所 齊藤 智行
理科	理科室	様々な自然の事物・現象に対する疑問を科学的な手法を用いて問題解決し、理科と日常生活のつながりを意識する子どもを育む学び	田口 瑞穂		中央教育事務所 熊井 修一
生活	1 A B 教室	思いや願いをもって対象への働きかけをよりよくしながら、気付きの質を高めていく子どもを育む学び	中野 良樹	長瀬 達也	中央教育事務所 石井 和史
図画工作	図工室	表したいことをはっきりともち、学びのものさしを活用しながら表現を工夫していく子どもを育む学び	長瀬 達也	石井 宏一	中央教育事務所由利出張所 安保 朋子
	秋田大学長瀬先生による、提案授業に関わる表現や鑑賞を学習者として体験するワークショップも行います。				
外国語	6 A B 教室	自分の考えや気持ちを伝え合う活動を通して、外国語を用いたコミュニケーション能力を積極的に高めようとする子どもを育む学び	佐々木雅子		中央教育事務所 相馬真紀子



社会



音楽



体育



生活



図画工作



外国語

提案授業Ⅱ

(10:25 ~ 11:10)

教科専門性

ICT

若手校内研修

教科専門性

ICT

カリマネ

多様性理解

教科等	授業会場	単元・題材名	授業者	授業アピール
社会	6 A 教室	調べて発見！ ～戦国の世の統一～	鈴木 聡	個々に設定した学習課題を追究する過程において自分の考えを繰り返し見直すことを通して、戦国の世が統一された背景について根拠と理由を明確にして説明する子どもの姿を目指します。
算数	5 B 教室	単位量あたりの大きさ ～速さ編～	井谷 紀子	単位量あたりの大きさの考えをもとに、生活の中で見付けた身の回りにあるものの速さを比べる活動を通して、速さの意味や比べ方を自分の言葉で表現する子どもの姿を目指します。
理科	理 科 室	金属、水、空気と温度 物の体積と温度	井上 駿太	温度変化に伴って物の体積が変化した様子を比較する活動を通して、温度の変化と体積の変化の関係に着目しながら問題解決する子どもの姿を目指します。
音楽	音 楽 室	声のひびき合いを感じて	大山 光子	「演奏する役」「聴く役」になり、互いに聴き合うことで、曲想を生かした歌い方や声のひびき合いを実感する子どもの姿を目指します。
体育	ア リ ー ナ	マット運動 ～クルッと回ってピタッと止まって gymnast ～	伊藤 敏幸	順次接触と運動伝導を行うために、どのこつをどのように使うのか、同時に身体の使い方がどうなっているのかを伝え合い、課題解決に向かう子どもの姿を目指します。
総合	6 C 教室	ふるさと秋田 幸せ都市計画	稲垣 勇介	誰もが住みたい秋田とはどんなまちかを動画で提案し合う活動を通して、自他の考えのずれに着目しながら生活上で感じる「幸せ」について考えを深めていく子どもの姿を目指します。
特別活動	4 B 教室	みんなが認め合う学級になるために	中田 貴広	自他の立場や納得度を可視化しながら話し合い活動をすることで、多様な考えの中で折り合いを付け合意形成を図る子どもの姿を目指します。

授業協議会Ⅱ

(13:45 ~ 14:55)

教科等	会 場	研究テーマ	研究協力者	教材分析協力者	助 言 者
社会	3 A B 教室	自らの学習状況を見つめながら、主体的・協働的に学習問題の解決に取り組む子どもを育む学び	外池 智 加納 隆徳		中央教育事務所 津島 稜
算数	5 A B 教室	個々の問いをもとに、主体的・協働的に学びをつなぎ、数学のよさを見いだしていく子どもを育む学び	佐藤 学 加藤 慎一		中央教育事務所由利出張所 齊藤 智行
理科	理 科 室	様々な自然の事物・現象に対する疑問を科学的な手法を用いて問題解決し、理科と日常生活のつながりを意識する子どもを育む学び 秋田大学田口先生による、提案授業に関わる内容について学習者視点と授業者視点で考えるワークショップも行います。	田口 瑞穂		中央教育事務所 熊井 修一
音楽	音 楽 室	「音楽のもと」を意識し、思いをもって音楽と豊かに関わる子どもを育む学び	吉澤 恭子 川辺 茜		中央教育事務所 澤木美穂子
体育	1 A B 教室	自他の課題を解決する中で、運動との多様な関わり方のよさを実感する子どもを育む学び	三戸 範之	松本 奈緒	中央教育事務所 久米 美樹
総合	6 A B 教室	自ら見いだした課題について、よりよい方法を用いて探究し、自分にとっての答えとしての概念をつくり出していく子どもを育む学び	細川 和仁		中央教育事務所 佐藤 高行
特別活動	4 A B 教室	仲間との関わりを主体的に求め、学校生活の充実と向上を目指す子どもを育む学び ～よりよい人間関係を形成する学級活動を通して～	佐藤 修司		中央教育事務所 鎌田 健志



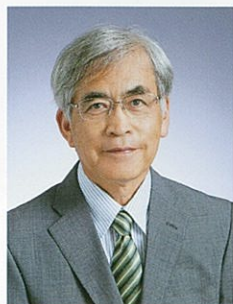
総合



特別活動

講演・講評

演題 「能力の発達段階を踏まえた指導と評価」



講師 **鈴木 秀幸氏**
教育評価総合研究所 代表理事

15:15 ~ 16:35

【主な著書】

『スタンダード準拠評価』(図書文化)
『これだけはおさえない学習評価入門』(図書文化)など

【専門分野】

社会科教育 教育評価

【プロフィール】

2009年中央教育審議会教育課程部会「児童生徒の学習評価の在り方に関するワーキンググループ」専門委員
2018年中央教育審議会教育課程部会「児童生徒の学習評価の在り方に関するワーキンググループ」専門委員

会場までの交通機関のご案内



〈秋田駅から〉

- バス利用 15分程度
 - ・神田旭野線⑧(天徳寺、卸売市場旭野団地行き)
 - ・添川線⑧
 - バス停/保戸野八丁下車
 - タクシー利用 10分程度
- 〈秋田空港から〉
- バス・タクシー利用 60分程度



申し込みについて

- 申し込み 令和5年9月15日(金)まで、本校ホームページ専用フォームからお申し込みください。
※受付後、
資料のダウンロードの仕方について
申込時に入力いただいたメールアドレス宛にお知らせします。
9月21日(木)までにメールが届かない場合は、suzuki@aes.akita-u.ac.jpにご連絡ください。

■会費 無料

- その他
 - ・上履きは各自ご持参ください。
 - ・昼食販売はいたしません。
 - ・駐車場を準備いたします。ご希望の方は参加申し込みの際に一緒に申し込みください。乗り合わせてご来校いただければ幸いです。
 - ・写真撮影、ビデオ撮影等はできません。
(ただし、授業者の承諾がある場合、授業終了後に限り、板書や掲示物等の撮影は可能です。)

令和5年度 オープン研修会【予定】

期日	教科等	授業者	研究協力者	教材分析協力者
11月28日(火)	体育(5年)	山田 幹	三戸 範之	松本 奈緒
	道徳(6年)	小室 真紀	成田 龍一郎	

●問い合わせ先 秋田大学教育文化学部附属小学校

住所/秋田市保戸野原の町13番1号 研究委員長 鈴木 聡 電話/018-862-2593 FAX/018-862-2598
e-mail: suzuki@aes.akita-u.ac.jp / ホームページ http://www.aes.akita-u.ac.jp